組合の楽しい便り 投稿歓迎します

東京都ラベル印刷協同組合

憂111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

No404

平成 30 年 10 月号

九 日

月

日

 \mathcal{O}

北

海

道

点 を 災

ところ 害

日

す 5 九そ今

て 兀

月 \mathcal{O}

> 西 阪

日 南

本 +

豪

雨

事

継測の

事

態

導

る

に В

は C

金 本 細

面

格

В カュ 計 6

故y

風

号

定

て

業 不

視

的

な 入 C

が 資

ま

8 続

た \mathcal{O}

لح

ŧ

組

合

東 で 題

日

大

災

月

部

地 地

震

東

日

本

災

以

降

が る

再

てバ

注

目

さ

れ 継

7

ま

す

行 に

画

で

7

お

<

画

月

+

日

年

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

列 地

島 震 5 月 L 年 成

大

が

にの危の

発

要

務

先

カュ

有

 \mathcal{O}

ち

早 た

く事

業 カュ

を ら、

再

開

旧

開

き

る

ょ

う Þ

何が

か 増

で

き

た と

い組問

L わ て 事

災

中 影 機 で か 想 害

7

可 限 及

速

る

 \mathcal{O}

う

合

せ

断 響

小

に 重

的抑

か 仮

産 得 で 事

拠 意 は 実 間 す

点

は

確

相次ぐ災害で今再び BCP(事業継続計画)が!

「緊急時相互委託生産協定」にも注目が

組合の簡易版「BCP(事業継続計画)」の利用も



半

合 た

員

は

成

l

T ま

え

作通

天

は

忘

れ

た

せい

い度

ま

組



す

た

 \emptyset で 組 応 た

何 \mathcal{O} 寄 な

で

き

る

う る

カュ

検

討

Ĺ

た が う

声

が 対

合

に

せ

た。

れか

لح

V て

組

合

は

問

に

対

相次いだ9月の北海道地震(左)と8月の西日本豪雨(右)

組そ を 平 産 災 後 印 成 な 発 \mathcal{O} 遠 が あ活 動 に 九 刷 時 生 ど 隔 出 合 +産 用 た L ŧ 締 州 協 相 地 来 を が 結 同 拠 な 含 五 Ħ. \mathcal{O} 責 組 年 委 点 組 < 文れ れ 1 \otimes 任 合と協 字 と を な ま ま 合 に託 た 本 を 来は 紹 で 印 北生 有 持 た刷締海 産 介 た 事 は あ 0 と لح 協 協 す 定 て 何 り \mathcal{O} 結 道 \mathcal{O} 定 き 際 がの ま 協 る を カン 同 L ろ おな大れす

だ 応 大 る 人 的 作 \emptyset か 成 な L В 組 成 C た 題 す 実 Ź が は 簡 成 ちは 小 易 は 資 規 継 版 +だ 金 模

は保 事 け \otimes な 等 \mathcal{O} だ 割 \mathcal{O} 調 確 う 7 5 が を Þ どう 達 果 通 な 保 ること い決や \Diamond 従 け は 画 7 で は 事 お員な 代 で \mathcal{O} 項 カュ \mathcal{O} で ま き 作 В が な 足 生 は ま 成 С あ < \mathcal{O} 原 産 11 せは 確 材 拠 Ρ る て

れ き 容 が 用 る を を す S В 使 で 記 な \mathbf{C} 継 て に 組の喉 入 形 れ В 続 元 11 て 組 Cす を は 計 るだ ラベ 過 る 自 合 Ρ 画 成 ぎ 組 員 簡 社 継 ル れ 易 け 合 \mathcal{O} \mathcal{O} を ば 員 中版 で 自 作 ŧ 界 熱 В に で 公 社 成 画 さ 11 С ŧ す 表 \mathcal{O} 専 忘 ま Ρ 内 用

恒 例 0) 合 同 支 部 会 を 基開 本催

様

で

型印子

0

1

以刷

上に

に

口

1 7

ル

۵ ı IL 0 ス つ 特 61 性 ての 勉

は語『要刃

カュ

参さ加に

者 目

ŧ

お 6

り

素

な

占

め

11

大 る ま

た

ŋ

ま

L

た。

れつ基講 妃 刷同ま 11 本 師 口 恒 7 特 台十 L 飯 例 仕はた。 性 招ル 店 東 \mathcal{O} を きの 区日 合 に テ メ 浅 上 **金** 同 ゴ 尾 於 支 野 テ A 栄 午 V 公 て ナ 口 次 袁 後 会 開 社 \mathcal{O} 六 催 スル 長 テ _ 時 さ に \mathcal{O} を ク 旦 ょ 九

組 社 1 工 合 のル 関 業 員 ロの 西 用 ŧ] 車 ゴ 門 本 多 ル Δ いを X 社 口 使 1 を] 用 力 持 L 0

樹印

用 社

脂

同口

回者の版 て 11 強 少 刃か る 型 な 口] に い のルは 普 がを関 段 は 現 重 心 視 状 を イ ŧ で す ン 示 る \mathcal{O} す 丰 。今業 ŧ 屋



浅尾栄次社長が説明を



印刷用ロールについての勉強会を

タいに 3 の脂 例 同 に か印で 7 お膨 لح 機 社 4 用 浅 デ 刷 に 説 け 潤 N ゴ 械 \mathcal{O} い尾 重 機 明 る 上 В メ b 分 A タ 要 抽 に R か適 を上 で ま り 正 出 力 る 易 材 ① あ 0 条 品 L 8 相 ル た。 げ る て < 件 ゴ 違 に 質 ゴ お 主 な 义 等 Δ 点 لح かロ お ょ Δ が を 1 Þ 口 7 け びな 特口 Þ ゴ⑥採用長 デ ら具 ル に] つルム樹用途 (2) IV

説的 11 明 に 参 加 者 は 納 得 たの体が

> 印刷文化典に 600 名が 金子会長「環境の変化を 好機と捉え」と訴え

から六(水)に たかニ 典業 連 毎 は 合 年 いホ 会 恒 テ \bigcirc 7 主 例 ル 名 開 年 催 \mathcal{O} = 催 t が \mathcal{O} 日 ユ 参 さ 九 本] 加れ 月 囙 刷印 +オ] 刷 文 ま全 玉 タ 日化産

えチ変つ済金 ヤ化い環子記 て境会念 な 長 式 تلح は典 لح しのの で 迎 え ろ環 劇 挨 て 私境的 拶 いはの な最に 大劇変近立 لح き的化のつ れ 考 ななに経た

うろ るこ が ン 丰 大 لح 部 き Þ لح に な 会 版 きる テ た を ま 通 ŧ لح で ľ 確 7 以 口 K 信 上 ジ 社 は に 1 れ会 蔛 価をかに 7 い値取ら貢 る を ŋ も献 課 L 創入新 題

造れ

語 で 7

し て 解

11

決

さ 庫シが組ル八労 太 賞 れ 印 合 で 名 恒 は ま 氏 刷前 + ル が 例 L が印 功 九 理 表 \mathcal{O} た。 名、 印 刷労 事 州 彰 表 刷 賞 さ 協 長 シ 彰] 振 同 を \mathcal{O} れ印式 興 組 濱 刷で ル 賞 合 神崎 印全振は を \mathcal{O} 奈 順 刷 日 興印 山川 賞 授 協 シ 刷 下県氏同 与 十功

た印 \mathcal{O} 工 産 大 所 場 ま 輪 部 表 た 連 印 門 彰 会 刷 長 で 第 賞 の正 で + を本札 は 七 受 社 口 工 1 小 環 場 L 規 境 ル まが組模 優 合 日 事 良

に 間の 乾 で イ 2 \mathcal{O} 演式杯 宮 は 日 0 引 典 腰 き に 本 会 \mathcal{O} 1 俊 フ でに 対 発 8 巖 日 続 講 す 彦 オ は先 声 会 本 き \mathcal{O} 立 演 る 氏 を 長 印 行 成 L ラ サ 0 世 が が刷わ 功 7 ス ま 「機れ を ナ 地 代 行 I械た 感 た。 ピ 球 表 わ G 工懇 な 謝 動環理 IJ A 業 れ 親 会 向境事テ た S 会





浅草花やしきで
バーベキュー大会を
童心に帰って射的や
演劇を見て楽しむ

バーベキュー大会で食べた後は童心に帰って射的を

お意をしでせは し人ラ園年 思たし者ろ 大もりる降続 、っ初参た観ン地と花いりいはにバいのま頃りく当れ草大員福 疲義ハて てつかめ加 、中日ま花会長利 、射園は1にとしに れにシ 光ドでいやに 様過ゴホ行くて者 客と `うし楽演的内天べ飲もたはバ` はしやは主厚 ごしッはのとの にし下長きし劇やの気キんせが土1当数たし もて町いはんを 遊む一、 が降きは人、の歴今だみ乗技回一楽大加りユ朝を き九の委 ししたピ花浅い中 もュでず もて町いはんを に月 たたり通や草うに 、りしと人は 気今デ史年よるり場復がし それの一か候 のでイのでうな物でし終みよはズあーでどに昔、わま う一できいも花 て _田 日 は雨がら不 で日居をうおや よはズあーでどに昔 わま 食 雨と始雨順 キ堂 う外ニる六す思乗懐参るし しを酒後こりし 開 。いっか加こた た有屋にと、き で国一遊五 、をなまがが

東京都最低賃金改正のお知らせ

※ 東京都最低賃金は、平成30年10月1日から

時間額985円に改正されます(改正されました)。

東京都内で働く全ての労働者に適用されます。

- ※ お問い合わせは、東京労働局労働基準部賃金課 TEL03-3512-1614(直通)又はワン・ストップ無料相談窓口「東京働き方改革推進支援センター」 (TEL0120-662-556)まで。
- ※ 業務改善助成金のお問い合せは、上記センター又は東京労働局雇用環境・ 均等部企画課(TEL03-6893-1100)まで。
- ※ キャリアアップ助成金・人材確保等支援助成金のお問い合せは、事業所の 所在地を管轄するハローワーク又は東京労働局ハローワーク助成金事務セン ター助成金第二係まで。

こ存 知 です か?

格安スマホとは 普通のスマホと何が違うのでしょうか?

ようか 円も ホに る ょ 7 < 朩 <u>ー</u> L 聞 で 払 り たら、 きます 0 0 最 よう て 7 耳 毎 近 11 月 **(**) が、 ると 何 が ス 0 す 7 た どう ホ V 11 う声 何 安 に 格 で 変 ス で 何 安 目 を わ 7 万 ス

なりま 解約

携

帯

電

会

社

 \mathcal{O}

メ

すると利用

でき

な

ける必

要が

ない

ため、

通 を

信か

会社 安 の 格 安スマ スマホ ス ホ との ・ホと携 が 有 違 名 名 に は 帯 電 ? 話

方も 格 う ってきて 安ス か。 ** \ ١, たこと 7 大手 ホ 0) \mathcal{O} 通 で が はなな 違 信キャリアと 名 前 い メリ でし とい だけ ツ う ょ はな

って、 るの で < れ ぞれ 々 格 え \mathcal{O} る 安 カュ なが、 をご紹 どん スマ 通 わ ス けではあ マ な人に ホ 1 ホ 機能 通 0) 介しま だ 機 ス 話 か マ りま 料 能 向 らと す。 V ホ 金 が 利 7 なら を せ 制 用 ん。 1 す 安 限 11 う 通

す。 \mathcal{O} ま 7 Δ メ す 朩 な 1 لح تح ただし ル 同 \mathcal{O} じように ア 使えなく ブ 携 IJ 帯 は 電 利 普 な 用 話 通 ŋ 会 で \mathcal{O} ま 社 き

 $gmail \ \& \ yahoomail$ 用することで格 スにこだわら ま ŧ メー す ル す が快適 が、メー な !安ス に 利 アド れ マ 用 ば、 ホを で で利 き

人 11 7 ŧ うイ ■なぜ カュ ホ S は、 多 Ι メー M 1 とにか \mathcal{O} 安いので フリー -ジで. で は ン 知 つ < な 0 安い し 11 格 て ょ で ! 安 う L ** \ لح ス か ょ る

卜

やデメリ

ツ

١<u>,</u>

ま

た、

そ

をつ を抑 大 テ ス を 提 ナ 手 そ やな通基ぐ信 え \mathcal{O} て 供 安 いるかれ 地 た 丰 ために 局 ヤ 理 リア を 由 立てる 自 5 めは は、 費 な \mathcal{O} で \mathcal{O} サ コ ĺ など、 アン スト 口 で す。 線 ピ

信 信 料 そ 設 に \mathcal{O} 載 コ せら スト 投 資 が、 を れ して て 11 ま 11 す。 ま

1

Ŕ

LINE/地図/ゲ

通

電

ネ

ツ

す。

] 備 え ま 通 で る必 す。 投 信 通 L 資 丰 信 や人 自 要 設 が 社 備 格 件 な ア で を 安 < 通 費 カュ ス 5 に 信 た 7 お 新 設 ホ 金 た 備 ŋ は な Ź

を

設 整 1

費例を ŧ L 利回九 用 O なら 七二 サ Τ 用 線 Ν E で 安く ク Е 自 え L 通 円) て サ 毎 体 ば ク 信 11 は 月 は 提 О 使 る で ド か九 供 С くえま た 0 デー 5 動 コ できる Ν 画 \emptyset モ 利 す。 円 Þ \mathcal{O} 用 タ 七 バイ 通信 S ŧ 可 (税 込 0 高 いです。 の能 N 速 な を 専ル S

F は■ 格 安 ス 7 ホ の デ 、メリ ッ

う。 ん。 リー る を引き継 丰 前 ヤ 格 格 IJ メに 安 安ス アの は、] ス でことが、のメール マ ル の Gmail などのフ マ ホ 取 得 ホ \mathcal{O} に 場 乗 で T 合 り換 きま ド ・レス 大 ょ フ え せ 手

取ア 得 プ ア IJ K L りは、 7 V 新 ス フ L を IJ 登 ĺ ア 録 メー ĸ L レ 7 スに ルを 11 る

> げ 0 て、 ま す。 更 F て V お ス くこと を引 に き ょ

大 自

手 社

きるた で Ρ によ 移行すること な みに め、 ŋ 引き 番 電 号 継 が は ぐこと そ でき \mathcal{O} は ま ま がM す ま でN

るサー いつの < 楽など通 ま ブ は ふす。 ランに 月 な O C 自 ってし Þ 分 に ま ピ ところ の N ス ょ に 使 モ 信 使 くえる ま · か容 を 量 0 7 11 使 を が 1 方 ・ます。 量が足 いって 多く消 決 ル に ま 合 動 O いると、 画 0 わ Ν ŋ 費 7 せ P 量 Е な す が で て 音 1

自由に 通信 200kbps) (な 788Mbps) ♡´SNS どうで ルなどは そこで、 **(**) 速 速度 速 度 切 11 度 制 よう ちど検 り替えられ をシー 通 制 限 信 動 といった形 限 容量を消 画 な あ が討さ や音 ンによって L ŋ (最 Þ る機 楽 最 費 メ な て で、] 大 L 大 ど

https://www.ntt.com/

肪 肝 ح

に が を 代 取 多 表 多 で な 脂 る を 最 量 的 < あ 肪 蓄 沂 に な る 肝 に 摂 原 積 中 لح 取 が な 大 す 性 は い 方 ŋ す は 脂 る 脂 カ で T 状 肪 ŧ ル 0 ル 態 が لح コ 脂 コ で 肝 7 \mathcal{O}] で き 肪 1 す 臟 S 肝 ル す ル 内 لح

態 は ま 肝 لح 重 す 炎 لح 1 篤 か 5 え な 進 ま 0) 病 肝 す する 気 硬 変、 \mathcal{O} 前 カュ لح 段 6 肝 脂 ŧ が 肪 あ W 状 肝 ŋ

が を す る な こと 控 け る 6 ば ま え ア ル لح で L ょ コ ŧ 肝 な 体 生 活 う 重 1 充 臟 管 分 習 脂 ル \mathcal{O} 状 理 \mathcal{O} 期 慣 肪 飲 待 態 を 肝 是 ど 4 で が \mathcal{O} を 過 段 き 改正 ぎ ま 善 す

脂 肪 肝 の 原 因

非アルコール性脂肪性肝疾患

No156 健康がいちばん!

酒飲まない人も脂肪肝に

大 ŧ な 1 Ŀ て 子 0) ŧ 脂 で ア 11 が \mathcal{O} 肪 ま 脂 す ル は 肝 コ す 肪 \mathcal{O} 1 肝 お 原 \mathcal{O} 酒 \mathcal{O} ル 因 ほ に \mathcal{O} 発 関 飲 カュ 症 L 左 連 4 に て 関 記 L 過 た わ \mathcal{O} ぎ

メ 薬 Þ 剤せ

> 過 な

遺 性 代 謝 疾 患

妊

いの

性 ツ

な

が

指

摘 口

さ

n A

て لح

ま 関 ボ

す。 連 IJ 性

タ

ク

ド 呼

肪

肝

疾

患

لح

ば

n

n

は

非

T

ル

コ

1

ル

性

過

剰 潚

栄

養

摂

取

肥

ま ま 糖 尿 娠 伝

経

L 肪

健

断

な

ど

で

初

بخ

れ 康

過脂

肝

は

無

症

状

 \mathcal{O}

す 7

肪 さ

肝

を

放

置

ることも す ると、 ル 脂 コ 肪 ル 肝 性 に 脂 0 肪 な 性 が 肝 る 疾

非 患

T

は

な 場 合 で 1 ル 摂 U 取 ま を す L 7

1

な

肪 肝 の 症 ح

肝 れ 行 の 症 が そ 脂症 ま L ょ す λ \mathcal{O} 肪 状 脂 す う て る な 後 肝 肪 が 初 تلح に \mathcal{O} \mathcal{O} 肝 状 8 れ は ŧ 重 炎 態 7 肝 12 < 篤 P 自 臓 あ が 明 b 覚 \mathcal{O} ŋ な 肝 進 11 症 病 ま 病 硬 行 状 か す 変 態 な 状 状 気 す 0 を る 自 が が で ۲ と、 進 す 現 発 肝 覚

多

肝 発

硬 症

変 す

な

ど

に لح

階 進 が

L 11

7 で 連 た

1 す L

関

て

る

ま

脂

肪

は

生

活

習

食炎 の 症

現と 腹 L む 部 ま < 欲 \mathcal{O} す 4 鈍 不 B 痛 振 P 黄 な تع だる 疸 腹 悪 さ 化 水 右 ŧ す る 出 上

肝 硬 変 の 症

ま瘤 大 血. す。 が 量 流 黄 形 出 Ł 疸 成 血. 影 B さ 響 腹 を き を 水 れ た 受け るこ な ئے ° す لح 食 る 道 た が 全 \emptyset 身 あ 静 ŋ 脈 \mathcal{O}

よは断無 る 行 う 放 な 症 可 す تلح 置 状 0 る せ で で 性 ょ ず 指 あ 重 う が 摘 あ 篤 0 治 さ 7 る な 療 を れ ŧ 状 症 脂 受 た 態 状 肪 け لح で 肝 健 が き す現は ま 康 に 診 れ 進

脂 肪 肝 0 治

場 ア 合 コ は] 適 ル 量 摂 に 取 減 量 6 す が 多

> 運 原 動 因 が と 療 食 必 な 法 事 を 0 \mathcal{O} で 7 す 取 摂 n VI 入 過 る 場 ぎ 満 て 合 な Þ ど 減 は 糖 が

す り ま す る る す <u>ک</u> لح ŧ 食 事 摂 療 取れ 量 0 な を 調 量 が

が に れ あ る は 肥 ŋ ょ 満 ま う 食 \mathcal{O} な す 事 程 丰 \mathcal{O} 度 術 吸 が を 収 強 行 を 1 う 抑 場 場 え 6 合

あ 肪 に ぐ ス がの に ŋ 戻 タ 生 肝 脂 ま イ \otimes 活 肪 に 0 元 す。 陥 て 6 規 肝 通 ル 0 L n を れ 則 \mathcal{O} ま 是 ま て \mathcal{O} を 治 j 生 す 是 L 正 療 まうこ 活 正 で ス て す は 再 タ ŧ 度 る び 1 生 日 لح 脂 ル す 活 Þ

で を 避 す 井 楽 け で L る う た 継 4 L 続 0 \Diamond た つ、 に す IJ ŧ, ること バ 無 ウ 理 運 が 動 \mathcal{O} F. な 重 な تلح 要 を 11

早 肝 肝 治 ح を 臓 脂 期 を 指 ŧ に を 肪 始 医 摘 健 充 肝 療 さ 分 康 \Diamond \mathcal{O} 機 ま れ 可 な 段 関 た 能 状 階 を لح で 態 ょ で 受診 き す う あ لح に n は 脂 戻 ば 肪 す

https://medicalnote.jp/

な る ほ تلح ず 新 製

品

兼用テンションコントロール付き を 最大 600 mmまでの大径巻取りが可能に 発 SR-320T ターレットスリッターリワインダー

ス八 る \mathbb{H} コ 1 \vdash] 八 パ S \bigcirc ス \bigcirc IJ R フ 売 \bigcirc オ L 九五埼 3] ま は 2 7 \bigcirc 玉 IJ 四県 0 ン ワ Т スの八桶 ル 兼 巻 軸 ド紙 で 用 付 用 タ 巾 す ス テ IJ V

にほー川

ど七

市

坂

優

n コ

イ

機 は シ ツ ツ 小 \vdash t 巻 シ mm記 IJ コ 1 ヤ 巻 フ 最 ワ を 取 1 備 1 n 高 イ ス 口 え と 用 ダ た大

1 巻 タ ツ 行 ア 取 タ 修 正一装二 り レ 1 プ 中 ツ 機 が 1 構 置 \bigcirc 次 シ $m \bigcirc$ 可 子 シノ t 能 \mathcal{O} セ 紙 フ 工 m ツ な 管 1 ア i 1 に \mathcal{O}] n 標 ょ セ ス 準)、 IJ 停 ŋ 蛇ピ

す大ヤ 効 止 径 フ ま率時 トたア間で、ツェ 巻 取で ツ \$ は一 プ n 短 ま 最軸に 大 で 0 六三なれ 巻 き ○イが 取 〇 ン る れmチ 業

mm

入 式 シ 巻 準 ヤ 出 仕 フ L \vdash 用 自 動 1 工 ン T チ 工 注ア

入式 一 本 ヤ フ 1 用 自 \equiv 1 動 ン 工 チ T] 工 注ア

(変更 三インチェ 自 動 一可 工] 能 ア T ツ 注 1 入 巻 ヤ 式 取 フ \vdash り 本 用

蛇 1 行 修 光 表 正 電 装 管 置 セ サ 1 式 自 動

メ

]

タ

枚

数

力

ウ

ン

構 セ エ ヤ ツ ア フ 1] \vdash 標 ス サ 準 IJ ポ ツ タ 1 機 機

口 m 最 **械** 装 エ 高 仕 置 ツ 3) 1 IJ A 排 出 用 フ

n ス 様 L° K П 0 が加 広えま =

0

五 紙

 \bigcirc \upphi

mm &

加七

わ〇

り mm

幅に

t

m

のシ ま mm

機 械 重 量 兀 \bigcirc \bigcirc kg

mm

も新 るの化力 置 るタ ス タ 1 視 ツ を 1 ツ を 同発 セ 同 ト 決 認チ 軽 機 売い 社 整成速 性パ \otimes 減 は 機 で 理 し度 るのネ さ オ 機 種 は 好 遂の操向ル \sim す せ لح 評 げ向作上のる レ る な \mathcal{O} を 上の②大た] 他 IJ 0 得 小 及 簡カ型 \otimes タ た に] て が口び略 ツ化に] ズ」 純 ŧ 11 で ツ 最 化トに \mathcal{O} 力 ベ る。 ト 適 ③ 位 よ ① 3 ツ ス

最 最 00 \bigcirc mm

最 大 大 原 巻 取紙巾 径 り 六 径 П 六 \bigcirc mm \bigcirc

九 機 1 械 〇 サ チ 1 ズ ヤ П フ <u>ا</u> \bigcirc

電 使 用 \bigcirc 電 力Ⅱ $\mathbf{m}\mathbf{m}$ × <u>=</u> 五. \bigcirc k \bigcirc W

最 源 小 ス 単 IJ 相 ツ \vdash 幅 П V 五.

も渦 のをを